

SQL Anywhere 11.0.1 におけるプロキシ・テーブルのセットアップ

本書では、SQL Anywhere 11.0.1 でサードパーティ製データベースへプロキシ・テーブルをセットアップする方法について説明します。

最初のセクションでは、Sybase Central を使用した手順を示します。2 番目のセクションでは、Interactive SQL から SQL 文を使用した手順を示します。

必要なソフトウェア

- SQL Anywhere Studio 11.0.1 (Sybase Central 6.0 と Interactive SQL (dbisql) を使用)
- Microsoft SQL Server 2005
- Windows XP または Windows 2003
- SQL Server データベースの ODBC データソース

Sybase Central を使用してプロキシ・テーブルを作成するには

1. Microsoft SQL Server サービス・データベースが実行されていることを確認します。
 - a. **[コントロール パネル] > [管理ツール] > [サービス]** を選択します。SQL Server (MSSQLSERVER) のステータスは **[開始]** でなければなりません。サービスが実行されていない場合は、サービスを開始してください。
 - b. ODBC Data Source Administrator から Microsoft SQL Server ODBC データ・ソースにアクセスし、**[Test Datasource]** ボタンをクリックして、このデータベースに接続できることを確認します。
2. Sybase Central から SQL Anywhere サンプル・データベースに接続します。このサンプル・データベースは、ホスト・データベースとして使用されます。

- a. Sybase Central を起動します。[スタート] メニューから **[プログラム]** > **[SQL Anywhere 11]** > **[Sybase Central]** を選択します。
 - b. **[Connections]** メニューから、**[Connect with SQL Anywhere 11]** を選択します。
 - c. **[Identification]** タブで **[ODBC Data Source Name]** を選択し、**[SQL Anywhere 11 Demo]** を参照して選択します。
 - d. **[OK]** をクリックします。
サンプル・データベースが Sybase Central に表示されます。
3. Sybase Central で **[Remote Servers]** フォルダを開きます。
 4. **[File]** メニューから **[New]** > **[Remote Server]** を選択します。
[Create A New Remote Server Wizard] が表示されます。
 5. ウィザードの指示に従って、Microsoft SQL Server データベースに接続するリモート・サーバを作成します。
 - a. ウィザードの最初のページで、リモート・サーバの名前を **MSSQL** に設定し、**[Next]** をクリックします。
 - b. リモート・サーバのタイプとして **[Microsoft SQL Server]** を選択し、**[Next]** をクリックします。
 - c. **[Open Database Connectivity (ODBC)]** オプションを選択して、Microsoft SQL Server データベースに対する ODBC データ・ソースの名前を接続情報フィールドに入力します。このケースでは、ODBC データ・ソースの名前を **northwind** にしています。
[Next] をクリックします。
 - d. リモート・サーバを読み取り専用にする必要があるかどうかを指定し、**[Next]** をクリックします。

- e. サンプル・データベースへの接続に使用しているユーザ ID と同じユーザをリモート・サーバで定義しない場合は、現在のユーザに対する外部ログインを作成する必要があります。
 - i. Microsoft SQL Server データベース上のユーザの名前を [Login Name] フィールドに入力します。
 - ii. Microsoft SQL Server データベース上のユーザのパスワードを [Password] および [Confirm Password] フィールドに入力します。
 - iii. 接続をテストして、リモート・サーバに接続できることを確認します。
 - f. [Finish] をクリックします。新しい MSSQL リモート・サーバが Sybase Central に表示されます。
6. Sybase Central の左側のペインで、MSSQL リモート・サーバを選択します。[File] メニューから [New] > [Proxy Table] を選択します。
- [Proxy Table Creation Wizard] が表示されます。
- a. プロキシ・テーブルの作成対象となるリモート・サーバ (この例では MSSQL) を選択します。この例では、Microsoft SQL Server に対するデータベース名は必要ありません。[Next] をクリックします。
 - b. 任意のテーブルを選択して、[Next] をクリックします。
 - c. [All Columns] を選択して [Finish] をクリックします。
7. Sybase Central で、[View] > [Refresh All] を選択します。
8. [Tables] フォルダを開きます。新しいプロキシ・テーブルがテーブルのリストに表示されます。

Interactive SQL で SQL 文を使用してプロキシ・テーブルを作成するには

1. Microsoft SQL Server サービス・データベースが実行されていることを確認します。
 - a. **[コントロール パネル] > [管理ツール] > [サービス]** を選択します。SQL Server (MSSQLSERVER) のステータスは **[開始]** でなければなりません。サービスが実行されていない場合は、サービスを開始してください。
 - b. ODBC Data Source Administrator から Microsoft SQL Server ODBC データ・ソースにアクセスし、**[Test Datasource]** ボタンをクリックして、このデータベースに接続できることを確認します。
2. Interactive SQL から SQL Anywhere サンプル・データベースに接続します。このサンプル・データベースは、ホスト・データベースとして使用されます。
 - a. Sybase Central を開きます。[スタート] メニューから **[プログラム] > [SQL Anywhere 11] > [Interactive SQL]** を選択します。
 - b. **[Identification]** タブで **[ODBC Data Source Name]** を選択し、**[SQL Anywhere 11 Demo]** を参照して選択します。
 - c. **[OK]** を 2 回クリックします。
サンプル・データベースが Interactive SQL に表示されます。
3. リモート・サーバを作成するには、以下の SQL 文を実行します。

```
CREATE SERVER "MSSQL" CLASS 'MSSODBC' USING 'testmachine1';
```

この文では、MSSQL はリモート・サーバの名前、MSSODBC は Microsoft SQL Server データベース、testmachine1 は使用する ODBC データ・ソースです。

4. 外部ログインを作成してこのリモート・サーバにアクセスするには、以下の SQL 文を実行します。

```
CREATE EXTERNLOGIN "DBA" TO "MSSQL" REMOTE LOGIN 'tester'  
IDENTIFIED BY 'put-your-password-here';
```

この文では、tester は MS SQL Server データベースで作成したログインです。

5. 最後の手順として、プロキシ・テーブルを作成します。以下の SQL 文を実行してください。

```
CREATE EXISTING TABLE "DBA"."TestProxy" AT  
'MSSQL;TestingProxy;dbo;T1';
```